

佐藤市長が始球式

定期戦の始球式で学校都市市長の佐藤璃子さんが大役を務めました。



この日のために、鎌田監督や野球部員にアドバイスをもらいながらピッチング練習をしてきました。その成果を十分に発揮し、すばらしいピッチングフォーム（本当にかっこいい投球フォームでした）で全力投球しました。

試合後、璃子さんにインタビューしたところ、「点数を付けるとしたら85点。



ノーバウンドで投げたかったが、ワンバウンドしてしまいました。でも、一生懸命できました。野球部の活躍には『さすが一中』と感激。応援も楽しかったです。3年生は1, 2年のときに応援中止になったので、今日だけでなく、もっと応援したいです」と笑顔で語ってくれました。

犯罪被害防止モデル校になりました

青少年の防犯意識、規範意識の向上に向け、毎年、郡市の中から1校を県警が指定する事業ですが、今年、本校がその対象となりました。能代警察署とともに、インターネットに起因する犯罪被害防止や自転車盗難被害防止などに努めていきます。今後、実態調査のアンケートや、啓発に向けた活動をしていく予定です。

5月10日の朝に集会を開き、菊池 茂 能代警察署長が「充実した中学校生活を送るためには、犯罪被害から身を守るすべを学ぶことが大切。警察側からもその方法について提案していくので、一緒に活動していきましょう。深夜徘徊、万引き、SNSトラブルなども中学生に発生しているが、特にSNSは性被害、誘拐、いじめ被害・加害につ



ながる危険が大きいので中学生には詳しく学んでいただきたい。自転車事故防止を含め、一中生には周囲の手本となってほしい。」とお話くださいました。

これを受け学校都市 佐藤 璃子 市長が「一中生は規範意識を大切にしています。これからはすきができないように警察署の力も借りながら防犯意識を高めていきたいです。」とあいさつしました。

今回のモデル校指定を学びのよい機会ととらえ、安心安全な生活を送っていきましょう。